

第1回

大崎上島町小学校規模適正化検討委員会議事録

令和7年9月29日（月）開会

大崎上島町教育委員会

第1回大崎上島町小学校規模適正化検討委員会出席者名簿

令和7年9月29日(月)18:30 開会
19:50 閉会

1 出席委員 笠原 美智恵
大政 勇司
望月 浩和
加藤 千香恵
川本 美陽
澁谷 祥三
畠本 昌英
前本 隆
當麻 章弘
榎本 一史
桑原 富生
有田 卓也
立田 文治
進藤 雅通

(傍聴者 5名)

第1回大崎上島町小学校規模適正化検討委員会 次第

開催日時：令和7年9月29日（月）
18:30～

議題

1. 委員長・副委員長の選任について

委員長

副委員長

2. 質問

3. 議事録署名委員の指名について

議事録署名委員

4. 小学校規模適正化についての意見交換

5. その他

配布資料

- 資料1 小学校児童数推移（令和7年度～令和13年度）
- 資料2 令和7年3月5日開催「令和の日本型学校教育」を推進する学校の適正規模・適正配置の在り方に関する調査研究協力者会議配布資料
- 資料3 令和7年6月2日開催「令和の日本型学校教育」を推進する学校の適正規模・適正配置の在り方に関する調査研究協力者会議配布資料

開会	学校教育課長	<p>ただいまから第1回大崎上島町小学校規模適正化検討委員会を開会します。私は教育委員会学校教育課の山本と申します。本来でしたら、委員長に議事進行をしていただくところですが、後ほど互選という形で選出していただきますので、選任までの間、この会の進行役を務めさせていただきます。円滑な進行にご協力いただきますようよろしくお願ひします。それでは、はじめに佐々木教育長よりあいさつを申し上げます。平素より本町教育行政にご協力賜り感謝申し上げます。さて、本町の昨今の教育情勢ですが、先日全国学力テストが実施されました。これは数値だけで注目されがちですが、日頃の学校生活から継続して勉強していないと結果は得られません。そういう意味で、本町小中学校国語、算数、理科3教科全てにおいて県内最上位の成績でしたが、これは町内幼稚園、小学校、中学校の先生方の指導はさることながら、地域や家庭の教育力がこのような結果につながったのではないかと思っております。また、中学校において、本年からA Iを活用した英語の授業も実施しております。そのため本町の中学生のタブレットには、英語A Iアプリを取り入れております。学校でも家庭でも英会話の練習ができる状況となっています。</p> <p>さて、本町小学校規模適正化検討委員会ですが、一昨年前の秋頃でしたが、令和5年度の出生数が10人に満たないのではないかという話が出てまいりまして、そうなると小学校のあり方についても検討していく時期がくるのではないかということが発端となっています。昨年度委員会設置要綱を作成し、昨年度中に開催したかったところですが、遅ればせながら本日まで開催できなかったこと、心よりお詫び申し上げます。本日はみなさんの忌憚ない意見をお聞かせいただき、本日1回目でなかなか決めるすることはできませんし、資料についても本日初めて提示させていただきましたので、みなさまが感じたことを率直にお話いただければと考えております。検討委員会というと、周りからはもう統合するのではないかというご意見もお聞きすることとは思いますが、ここで教育委員会が教育長が統合ありきで話を進めていくということは決してありませんので、そこだけははっきりと申し上げておきます。本委員会でみなさまのご意見をお聞きしながら、回を重ねていく中でコンセンサスを得て、保護者や地域に説明する機会も設けていきたいと思っております。来年や再来年に統合するとかいうことはなく、どのような局面となったら統合も含め検討する必要があるのかを考えていただく、この場が統合をするのかしないのかを決定していくわけではないということを断言させていただきまして、私からのあいさつとさせていただきます。本日はよろしくお願ひします。</p> <p>続きまして、今回初対面の方もいらっしゃるかと思いますので、委員のみなさまにはそれぞれ自己紹介をお願いいたします。なお、本日の資料に名簿をつけておりますので、名簿の順に笠原委員からお願ひしたいと思います。</p>
	教育長	
	学校教育課長	
議題1	学校教育課長	<p>それでは、議題1の委員長・副委員長の選任に入りたいと思います。大崎上島町小学校規模適正化検討委員会設置要綱第5条におきまして、委員長及び副委員長は委員の互選により定めると規定されています。つきましては、この場でみなさまに委員長・副委員長の選出につきまして、お諮りさせていただきたい思います。本日初めて対面された方もいらっしゃいますし、なかなかすぐに人選は難しいのではないかと思います。まず、事務局案をご提案させていただいてご承認いただくことも一つの方法ではなかいと思いますがいかがでしょうか。特に意見がなければこの方法で進めてさせていただきたいと思います。</p>

議題1	全委員 学校教育課長	<なし> それでは、委員長に笠原委員、副委員長に進藤委員を提案させていただきますがいかがでしょうか。
	全委員 学校教育課長	<異議なし> 異議ないようですので、賛成ということでよろしいでしょうか。賛成される方は拍手をお願いします。
	全員 学校教育課長	<拍手多数> それでは、当委員会の委員長に笠原委員、副委員長に進藤委員が決定されました。
議題2		続いて次の議題に移る前に、教育長より笠原委員長に対し、諮問書をお渡しいたします。
	教育長	～ 諒問書朗読後、手渡し ～
議題3	学校教育課長	それでは、ここからは委員長に議長になっていただき、進行をお願いします。
	笠原委員長	委員長に選任していただきました笠原です。この会がより良い方向へスマーズに進行していきますように、それぞれの立場でご意見をいただきますよう、よろしくお願ひします。
議題4	学校教育課長	それでは議題3の議事録署名委員の指名について、事務局より説明をお願いします。
	笠原委員長	大崎上島町小学校規模適正化検討委員会要領第6条におきまして、議事録には、委員長及び委員長が指名した委員が署名すると規定されています。つきましては、委員長より議事録署名委員を指名してください。
	学校教育課長	それでは、議事録署名委員につきましては、畠本委員及び川本委員を指名いたしますのでよろしくお願ひします。
教育長		引き続きまして、議題4小学校規模適正化についての意見交換について、事務局より説明をお願いします。
		資料1につきましては、令和7年度から令和13年度までの小学校児童数の推移です。令和7年度は実数ですが、令和8年度からは現在の居住地の児童が居住区の指定校に入学した場合の数字です。資料2につきましては、文部科学省が開催しております、「令和の日本型学校教育」を推進する学校の適正規模・適正配置の在り方に関する調査研究協力者会議において配布された資料です。資料3につきまして、当会議の論点を整理された資料となっております。令和7年6月2日の開催前に3回開催されています同会議において論議された内容を整理されたものとなっています。
		～ 資料3に沿って説明。～
		本検討委員会では、国などの動向も踏まえつつ、統合するのかしないのかではなく、検討する局面というのはどのような状況や基準なのか等小学校の適正な規模及び配置に関する基本的な考え方に関する事項について、審議・協議・意見交換をしていただきますようお願ひしたいします。
	教育長	文部科学省の「令和の日本型学校教育」を推進する学校の適正規模・適正配置の在り方に関する調査研究協力者会議は、令和7年3月からスタートしまして、1年程度かけて議論されてる予定となっております。文部科学省のホームページに当会議の資料や議事録は掲載されていますので、ご参考にしてください。委員は、5人により構成されています。また資料の中に平成27年の手引きとありましたが、これは、文部科学省が当時示したガイドラインになります。しかしここ10年で日本の教育は大きく変化しております、特にコロナ禍以降、不登校児童生徒数の増加や、多様な学び方の増加などです。そういう意味で平成27年のガイドライを見直していく会議でもあります。そういう点もご

議題4	<p>承知おきいただきたいと思います。 ただいま事務局より説明がありましたが、何かご意見がありましたらお願ひします。</p> <p>資料1の網掛けの箇所が複式学級ということですが、複式学級というのはどの学年とどの学年が複式になるのですか。</p> <p>本町の場合は、1年生と2年生、3年生と4年生、5年生と6年生が一緒になります。基準は16人以下となっていますが、1年生を含む場合は8人以下となります。2年生と3年生、4年生と5年生が一緒になることはございません。</p> <p>2年生と3年生、4年生と5年生というのは変則複式と言われているんですが、これらは広島県の配当基準で採用されていません。</p> <p>少子高齢化で今後子どもの数が増えるということはないということなんですが、木江小学校の推移をみると若干増加傾向にあるようですが。これは現在木江地区に居住されている就学前児童数が、現在の小学校の児童数より多いためです。</p> <p>児童数を見通すというのは、なかなか難しい状況です。今住んでいる住所地で、現在の出生数がそのまま指定校に入学するとした場合の数字ですので、これに転出転入が入ってくると思われます。</p> <p>保護者として、先ほどの統合ありきではないというお話を聞かせていただいた上でお聞きします。私は旧西野小学校を卒業し、その後閉校になりました。娘は旧大崎幼稚園に入園する直前に、旧木江幼稚園と統合して大崎上島幼稚園になるという経験をしましたが、当時の教育委員会から対象園児保護者に説明会が開催されまして、統合ありきではあるが、一人でも反対されるのであれば統合を進めていくことはないという話がありました。保護者としては、統合についてどうですかと尋ねられるよりも、統合するしないを決めてから話を聞く方が分かりやすいという方はあります。今後児童数がこれくらいになれば統合します等の基準を示してもらったほうが考えやすいと思います。また、町・教育委員会・学校の先生方からみて児童数がどれだけになったら学校の経営を持続していくのが難しいのか教えていただきたいです。より良い教育ができなくなるのはどれくらいの児童数なのか、基準などはあるのか教えていただきたいです。</p> <p>基準というはありません。どういった局面で統合を検討するのかというのを本検討委員会で議論していっていただきたいと思っております。みなさんのコンセンサスを得ながら進めていかないと、教育委員会が主導して進めていっても理解は得られないと思っています。本検討委員会でいただいた意見を参考にしながら見通しを立てていきたいと思っています。</p> <p>どの状況になったら学校の存続が難しいのかというご質問もありましたが、みなさんそれぞれの立場でご意見いただければと思います。</p> <p>児童数がどれくらいになったら存続が難しいのかという答えはないと思います。私の今の校長という立場からすると、与えられた環境の中で最善の教育をしていくというスタンスです。児童数が1人になったとしても学校ができる最大限の努力をして、今求められている力をつけていくということです。</p> <p>東野小学校は現在3、4年生と5、6年生が複式ですが、来年は完全複式になる予定です。それに伴いまして教職員の数が2名減になります。どこかの複式学級は教頭先生が担任となります。現在は教職員が研修等で不在時は校長や教頭が対応しているんですが、教頭が担任になると、そういう面では職員不足による教育の質が保てるのか不安があります。ただこれは実際やってみないと分からぬことです。現在木江小学校は完全複式学級でやっていますが、東野小学校については、来年からこれまで経験したこと�이ありませんので、今年度から来年度に向けて</p>
-----	---

議題4	望月委員	行事を工夫したりして取り組んでいます。教育の質ももちろんですが、児童の安心安全についても職員が減るということで心配しているところではあります。ただ、これは複式学級だから心配や不安があるというのはありません。複式学級というのは教育効果がすごくある形態です。今後の児童数推移をみても、東野小学校はずっと完全複式学級としてやっていくことになりますので、職員不足については工夫をしていかないといけないと思っています。
	教育長	教職員の配置についてですが、複式学級3クラスに対して校長・教頭を除いて教職員2人配置されます。東野小学校は現在複式学級2クラスと単式学級2クラスの計4クラスありますので4人配置されています。また、完全複式学級の場合は教頭先生が担任を持つことになっています。特別支援学級については、1クラスに1人配置されます。
	加藤委員	木江小学校は現在全児童数19名ですが、児童数がどれくらいになったら学校運営の継続が難しいのかというのではないと思います。子どもたちのもっている力を最大限伸ばしていくという使命をもって教育していますので、少人数の学校には少人数なりの良さがあります。少人数だからつけていける力がありますし、児童一人一人を丁寧に見ていくこともできます。また複式学級を心配される方もいらっしゃいますが、複式学級は自分自身で勉強していく児童を育てられることができると思っています。ただ逆に大人数の中に入ったときに控えめになってしまふことがあります。これは交流活動を工夫するなどして取り組んでいます。少人数としてのメリットを最大限活かしながらデメリットをしっかりと補っていくという教育を進めていきたいと思っていますので、児童数が少なくなったからといって教育が難しくなるというのではないと思っています。
	立田委員	小学校の運動会に行ってみると、児童が少ないなという印象はあります。児童数の推移をみて、町全体の児童数が1つの学校にいれば、学校行事などについてもいいのかなという個人の感想はあります。
	澁谷委員	学校統合ということであれば、中学校が平成21年に大崎上島中学校として開校しています。その際にはいろいろ議論されたと思いますが、その際基準などあったんですかね。基準があればそれが統合する際の判断材料となったのではないでしょうか。施設の老朽化などもあったかもしれません、その当時の流れなども参考にしたらいいのではないかと思います。
	望月委員	当時の統合の目的等あまり定かではありませんが、子どもたちがやりたい部活動ができるというのも一つ要因だったのではないかと思います。
	教育長	中学校が統合した当時の情勢を振り返ってみると、1学級よりクラス替えのできる2学級の方が良いとする議論がありました。それから通学の問題です。中山間地域ですと統合して通学時間が長くなる場合が多くありますが、本町の場合はバスを利用して20~30分程度で通学できるというのも一つあります。それと校舎です。施設の老朽化もあったのかもしれません、新校舎建設というのも一つの要因であったのではないかと思われます。
	當麻委員	うちの子は木江小学校に通っているんですが、小規模校の方が合っていると思っています。うちの子に限らず小規模校の方が合っている子どもたちはいると思うので、そのあたりも踏まえて考えてもらいたいと思います。
	前本委員	大崎小学校では、学校行事等で学校に行っても複式学級を見るという経験がないので、東野小学校や木江小学校の複式学級を見学する機会などを設けてもらって、現在の学校の状況を知るというのも必要なのではないかと思いました。
	笠原委員長	私がこれまで赴任していました地域で統合の話が出たこともあるんですが、自分の率直な意見としては、授業を進めていくうえで、ある程度

議題4	<p>笠原委員長</p> <p>加藤委員</p> <p>川本委員</p> <p>教育長</p> <p>有田委員</p> <p>當麻委員</p> <p>澁谷委員</p> <p>教育長</p> <p>畠本委員</p>	<p>の子ども数はいたほうがいいのではないかと思っています。多様な考えに触れさせてあげたいというのがありますし、数が少ないと学びの深まりというのが得られにくいというのと、学校行事等についても一定数子どもがいたほうがいいのかなと思います。そのような点について各校でどのように考えておられるのか聞いてみたいです。</p> <p>本校でもその話題は良く出ます。本校は通常学級の6年生は2人、5年生は4人ですが、本校の複式学級は、見守り型支援として自分たちで話し合いをしながら授業を進めていく形態で学習しています。たしかにもう少し子どもの数がいれば、学びの深まりや広がりが出てくるのかもしれないと思うこともありますが、現状6年生2人でも自主的に学ぶ姿というものは高まっていると思います。</p> <p>幼稚園についても少ない人数でやっていますが、他の校長先生が言われたように、今置かれている環境で最善の教育を提供するということを心掛けています。いろいろな意見が出されていますが、児童数で考えるというのは教育現場においてはないのではないかと思います。複式学級については、私もよく見学させていただくことがあるんですが、児童が自分たちの意見をしっかりと出せていますので、木江小学校の見守り型支援のメリットを感じさせていただいている。</p> <p>統廃合の問題になりますと、地域に子どもがいなくなるということが想像されますが、地域ではどのような感じ方をされるのかお伺いしたいです。</p> <p>東野地区では中学校の統廃合や幼稚園の廃園を経験しましたが、実際統廃合以前は、子どもたちのにぎわいをものすごく感じることができていました。現在は小学校のみで寂しさは感じますが、今後の児童数推移を見てみると、致し方ないのかな、他の何かでにぎわいを作り出していくといけないのかなと思っています。</p> <p>今娘が大学生になったんですが、当時木江幼稚園に通園していましたがその頃に比べると園児も大変少なくなっていて寂しさは感じます。人口が減っていく中で統廃合したとしても、いずれまた児童数も減り少なくなっていくというところも踏まえ、考えていく必要があると思っています。</p> <p>資料の中で義務教育学校というのがありますし、竹原市においては進められていると思うんですが、本町において進められてこなかった経緯などは何かあるんでしょうか。</p> <p>義務教育学校というのは、小学校と中学校が同じ校舎となっており、校長と教頭が1人ずつ、小学校の先生も中学生を、中学校の先生も小学生を教えます。これは教諭免許の問題もあります。例えば中学校数学の免許を持っている教諭は小学校でも算数の授業しか教えられません。小学校の先生も中学校の免許がないと教えられません。そういう面で多少制約があるなかで進められているんですが、この義務教育学校がどのような効果を生んでいるのかという検証がまだ進んでいない状況です。ただ義務教育学校を進められている学校というのは、1学年おおよそ10人程度の小規模校です。ですので、本町の当時の様子は分かりませんが、児童生徒数を考えたときに、義務教育学校ということを検討するというところまでは至らなかったのではないかと思います。</p> <p>今みなさんの意見をいろいろ聞かせていただいて、小学校、中学校とも今の児童生徒数に応じた教育をしていただいているし、今後もそういった教育をしていただけるというところでは、メリットデメリットありますしつつ安心したところです。児童数の推移をみると、全体的に減少傾向にあるものの、すぐに統合を考えるという局面ではないかなと。本検討委員会は保護者の立場として参加させてもらっていますが、来年にはまた別の方が参加されると思いますので、年2回から3回程度開催していただいて、長いスパンでできるだけ多くの保護者の意見も聞いてい</p>
-----	--	---

議題4	畠本委員	ただければと思います。現状は統合まで考える必要はないのかなというのが私個人的な感想ですが、中にはもう統合するのではないかと思われている方も実際いらっしゃいますので、現状などについて話せる機会を設けていただければ色々な保護者からの意見もお聞きできるのではないかと思います。例えばホームページなどで保護者の率直な意見を募集するなどしてはどうかと思いました。
	前本委員	今は小学校の学校生活についての話が主だったんですが、放課後子ども教室など学校生活以外のことでも考えておかないといけないのかなと思いました。中学校の統合を経験されているので、小学校の通学についてはある程度ノウハウもあるのかなと思いますが、低学年の小学生が同じように路線バスで通学して家に一人で留守番できるのか等中学生だからできること、小学生だからできないことを課題としてあげていく必要があると思いました。
	進藤委員	私は旧西野小学校を卒業してその後廃校となつたんですが、旧中野小学校と統合して大崎小学校になるときに話がなかなかまとまらず、何年もかかってようやく統合したという経緯があります。そこには保護者のみなさんいろいろな思いというのがあると思います。私も周りの方に意見を聞いてみたんですが、統合するのも仕方ないという方もいらっしゃいましたが、最後は保護者の問題だよねっていう意見でした。そういう意味では保護者が納得できる説明ができるかというところも考えしていく必要があると思います。
	教育長	県内においても様々な地域で統廃合の問題についてニュースになっていますが、その際によく保護者や地域への説明が不十分ではないかと報道されています。やはりみなさんでしっかり議論していただいて進めたいかないと、そのことが後々軋轢を生むのではないかと懸念しております。統合するにしてもみなさんが納得される形で進めていく必要がありますので、少し時間はかかるかもしれません、本検討委員会を通してみなさんから率直な意見を聞かせていただければと思っております。会議冒頭にありました、このような局面になつたら統合を検討していくという基準作りというところまでは至っておりませんが、これから時間をかけて少しづつ進めていきたいと思いますので、みなさんの周りの方からの意見も聞いてもらひながら次回以降またよろしくお願ひします。次回については、年度内には必ず開催させていただきたいと思っておりますので、出席の方よろしくお願ひします。
	笠原委員長	会議の時間設定ですが、次回も18時半くらいでよろしいですかね。 ＜意見なし＞
	学校教育課長	それでは議題5その他に移ります。委員のみなさんから何かございましたか。 ＜なし＞
議題5	教育長	はい、それでは本日の議題は全て終了しましたので、私の議事進行を終了し事務局にお返しします。
議題5	教育長	はい、それでは本日の議題は全て終了しましたので、私の議事進行を終了し事務局にお返しします。
	全委員	みなさまから貴重な意見をいただきましてありがとうございました。本日唐突に資料を配布させていただきましたので、まだまだ発言されていない意見もあるかと思います。また後程資料に目を通じていただいて次回また貴重なご意見をいただければと思います。本日はありがとうございました。
	笠原委員長	委員のみなさまにおかれましては、長時間にわたり熱心にご協議いただきまして誠にありがとうございました。それではこれをもちまして第1回大崎上島町小学校規模適正化検討委員会を閉会いたします。次回もよろしくお願ひします。
	教育長	

本議事録については、委員会の内容に相違ないことを認める。

令和7年9月29日調整

委 員 長

議事録署名人

議事録署名人

(議事録調製者) 学校教育課長 山本 秀樹